

## 会員連絡

大会について

第五九回総会及び第六六回大会が、五月一九日(土)、二〇日(日)の両日、千葉大学西千葉キャンパスにおいて開催されます。大会プログラムは別途添付資料を参照ください。

- ・同封の葉書で大会及び懇親会の出欠を、五月七日(月)までにお知らせ下さい。
- ・会場周辺には飲食店が少ないため、二〇日(日)の弁当(千円)の予約を受け付けます。ご希望の方は同封の葉書にご記入下さい。

委員の選出について

本年度は役員選挙がございますので、選挙規定に従い投票をお願い致します。五月一六日水(必着)までに事務局宛に郵送してください。投票用封筒には選挙用紙以外のものは入れないようにしてください。大会会場では、五月二〇日(土)正午まで受け付けます。なお、会則及び選挙規定は『哲學』(第五八号)に記載されています。また**女性委員が極めて少ないのが現状です。委員会は男女共同参画ワーキンググループの提言を受け投票に際してご配慮いただくようお願い致します。**

会費について

会費をお納め下さい。会費は年六千円です。会費年度は三月一日から二月末までとなっています。未納分の合計は封筒の宛名ラベルの右下に表示してあります(金額がゼロ、またはマイナス符号がついている場合は、入金超過ですので、お支払いになる必要はありません)。なお、納入会費額は二〇〇七年二月の資料に基づいてあります。行き違いの節はご容赦下さい(会費四年以上未納の会員には、『哲學』の送付を停止しております)。領収証は郵便振替用紙の払込票をもってかえさせていただきます。

自然退会について

日本哲学会では、会費未納期間が九年以上の会員の方については、自然退会として処理します。ただし、会費が四年以上未納となり雑誌『哲學』の送付を停止した後も、退会届が未提出である場合には、引き続き会員として登録しており、会費も請求しております。また、退会申請者で会費未納分のある方や、自然退会となった方についても、『哲學』送付期間の未納分の会費は納付いただくように求めております。

学会名簿に掲載する個人情報について

**日本哲学会では個人情報保護法を遵守し会員の皆様の個人情報を取り扱っておりますが、学会名簿に記載する個人情報の範囲(住所または連絡先)電話番号 所属 職名)に関して、削除を希望する項目がある方は、同封の葉書にて二〇〇七年五月七日までに「哲学会事務局まで御連絡下さい」。**

公募論文について

- 1 論文テーマ 哲学に関するもの。ただし、未公開のものに限る。
- 2 応募資格 当年度会費を納入済みの日本哲学会会員であること。ただし、前年度の『哲學』に公募論文が掲載された者を除く。
- 3 使用言語 日本語、もしくは英語、ドイツ語、フランス語
- 4 原稿分量 以下の形式で応募して下さい。
  - ・日本語、欧文、いずれの場合も句点、ピリオド等も字句数に数える。
  - ・枚数は厳守のこと。
  - ・日本語の場合：本文と注を 四〇字×四〇行でレイアウトして(改行などによるスペースも含めて) 一〇枚以内。

- 5 欧文要旨 欧文論文の場合：本文と注を含め六〇〇〇語以内。日本語の全訳(もしくはパラグラフの順序に忠実な要約)を付すこと。

- 5 欧文要旨 日本語、欧文論文とも「三〇〇語程度の欧文要旨(英・独・仏語のいずれか)とその日本語訳を作成すること」。

- 6 提出物 以下の要領でそれぞれのを必要部数揃えること。
  - ・原稿はA4判用紙に左記の要領で印刷して下さい。応募原稿には、氏名、ふりがな、所属機関名を明記のこと。

・日本語の場合：一頁四〇字×四〇行で印字したものを五部（本文と注は同じポイントで）。

・欧文論文の場合：特に印字の指定はありませんが、その日本語訳は同じく一頁四〇字×四〇行で印字し、欧文論文とその日本語訳をそれぞれ五部。

・欧文要旨とその日本語訳を各五部。

・「応募論文調書」を一部（調書の書式はHPにも掲載しています）。

・原稿ファイル（ワープロ用のファイルとテキストファイルの2種類）を収めたCD-ROM（もしくはFD）一枚。氏名、題目、使用機種、ソフト名を明記のこと。

・欧文論文の場合、ネイティブ・チェックをあらかじめ受けるものとします。

ネイティブ・チェッカーによる、チェック済の証明書と、そのチェッカーの経歴書（ともに書式自由）各一部を添えること。

7 提出要領 以上を揃えた上で、封筒の表に「公募論文原稿在中」と明記の上、編集事務局宛に郵送のこと。（なお、

提出された原稿やCD-ROMなどは返却しておりません。）

8 応募締め切り 随時提出することができます。『哲学』次号掲載のための締め切り目安は六月末ですが、その期日内に提出された論文であっても、採用された論文の数が多い場合や、書き直し等により審査に日数を要する場合など、次々号以降に掲載が延期されることもあります。

9 審査

編集委員会の責任において審査・選考します。審査の過程で問題点を応募者に指摘し、書き直しの要求をする場合があります。また、不採用になったものについても、その結果と理由を通知しております。なお、かつて「不採用」と判定された応募者が、新たに論文を投稿し、この新規投稿論文が旧論文とほぼ同内容と判断された場合は、「不採用」となります。

その他

『哲学』五八号、及び『日本哲学会第六六回大会予稿集』を同封致します。

二〇〇六年八月以降の新入会員名簿を同封致します。新しい名簿は七月の会員連絡に同封いたします。なお、住所等変更のある方は同封の出欠葉書に朱書きで「返送ください」。

加藤雅人会員から二〇〇六年八月三日付けで、会長および編集委員長宛てに、刊行した著書における著作権侵害の可能性を認識したため、編集委員を任期途中で辞任したい旨の申し出があり、十月七日開催の委員会において同会員の編集委員辞任を承認した。

ご連絡は郵便またはe-mailでお願いいたします。

千葉大学文学部内 日本哲学会事務局 〒二六三・八五二二 千葉市稲毛区弥生町 一・三三三

e-mail: nittatu@ros.l.chiba-u.ac.jp 電話: 090-3802-5114

なお、二〇〇七年六月一日より事務局校が移転いたします。次期事務局校は慶応義塾大学文学部内 日本哲学会事務局です。新しい連絡先は決定次第、日本哲学会HPに掲載いたします。

以上

二〇〇七年四月一日

会 員 各 位

日本哲学会事務局